

平成28年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 特別賞

やさかじちくしゅうらくえいのうそしきれんけいきようぎかい
「弥栄自治区集落営農組織連携協議会」
(島根県浜田市)



【地区の概要】

浜田市弥栄町は、人口1,400人弱、約9割を山林が占める浜田市の自治区です。水稲、有機野菜、和牛飼育が農業産出額の上位を占めており、有機栽培や特別栽培などに取り組む生産者が多く、地域全体に循環型農業の考え方が根付いた地域です。

島根県では、昭和50年代から「集落営農組織」が全国に先駆けて数多く設立されています。弥栄町内では、13の集落営農組織が、稲作や転作作物の作付を行い、農地や景観の維持・保全、UIターン者の受入などに大きく貢献してきましたが、設立から30年を超える組織もあり、役員やオペレーターの世代交代や後継者確保が大きな課題となっていました。

【組織の概要】

弥栄自治区では、各集落の農地管理の状況の把握、今後の計画を作成するためのきっかけとして「人・農地プラン」の作成に取り組み、集落営農組織のある地域も農業の継続に不安があり、集落営農組織の連携の必要性が認識されました。このため、集落営農組織の経営基盤の強化、収益力の向上を目指し、地域の農業振興を図る「弥栄自治区集落営農組織連携協議会」を集落営農組織を構成員に平成27年5月に設立しました。

【主な取組の成果】

4期対策の推進において、協議会が中心となり弥栄自治区の集落連携による集落協定の広域化が取り組まれ、他の地域のモデルとなる成果を上げています。

- 協議会がコーディネーターとなり、4期対策では、地域を3つの広域集落協定に再編。
- 協議会の事務支援で、広域集落協定の効率的な協定運営の体制を整備。
- 協議会のもと、交付金を活用するなどにより、効率的な農地管理、農産物の弥栄ブランド確立等地域一体の農業振興の取組を実施。

弥栄協定・集落営農連携協議会の概要

